

北大路区地域づくり計画書

平成24年3月30日策定

平成26年7月8日第一次改定

京丹後市網野町
北大路区

北大路区地域づくり計画書 ～ 目次 ～

第1章 地域の概要

1 地域の概要	1 頁
(1)趣 旨	
(2)構成等	
2 地区概要	1
(1)位置・地勢	
(2)歴史、産業、文化・教育、地区組織	
①歴史（区史）	、 ②織物・農業
③教育	、 ④文化財（有形無形文化財等）
⑤北大路区等組織図	、 ⑥地区行事

第2章 地域づくりの構想

1 地域づくり	6
・安心安全、福祉全般、文化教育	
2 地域づくりの構想	8
・安心安全、文化教育	

第3章 基本とする計画

1 安心安全	8
(1)地域環境整備	
・現状ほか	
(2)地域での防災・防犯	
・現状と課題	
・解決に向けて	
2 健康	9
(1)健康づくり	
・現状ほか	
(2)高齢者・児童福祉	
・現状ほか	
3 文化・教育と地区組織	10
(1)青少年健全育成	
・現状ほか	
(2)生涯学習	
・現状ほか	
4 地域要望	11
(1)当区に関わる要望（継続含む）	
(2)地区要望事業計画	

第1章 地域の概要

1 地域の概要

(1) 趣 旨

第二次世界大戦後の「昭和の大合併」から半世紀が過ぎた中、再び「平成の大合併」と称される大規模の合併の波が日本国中を駆け巡り、ここ京都最北部に位置する6つの町(網野町ほか、峰山町、大宮町、丹後町、弥栄町、久美浜町)も例外なく押し寄せた波に勝てず、平成16年4月1日、京都府下で一番手となる合併によって京丹後市が誕生しました。

この合併は経済成長が鈍化情勢にある中、国や地方の行政財政悪化を踏まえ行財政基盤の確立を図ったことから、合併の推進や地方分権の進展などにより、各地方公共団体は今まで以上に自己決定や責任が求められるようになりました。

同時に、市域内の各地区も多様化する地区のあり様や区民個々の要求に呼応すべく、また、地域に住む区民で、自ら考え、自ら行動、そして自ら負担していくことで、自分達の地区は自分達で構築することが肝要であるとし、更に従来型の地区行政のあり方をも踏襲すべく、行政主導型に依存することなく、自らが進めていく地区行政の新展開を迎える時期の到来であると考えます。

この地域づくり計画では、区民による区民のための自治意識を抱きながら、新時代に適合した地区行政のあり方を求めるものであり、将来の当区がどのようにして地域づくりを目指し、構築していくのか、区民総意の下で様々な視点などから、地域づくりにおける具体的な事業計画はじめ、当区の住民福祉などの一層の向上を図るため、当区において本計画書を作成します。

(2) 構成等

本計画は、計画作成のための趣旨と地域概要、地域づくりを行なう上での基本構想や実施していくため、基本計画は3つの章で構成します。

第1章 地域の概要、第2章「地域づくりの構想」、第3章「基本とする計画」

2 地区概要

(1) 位置・地勢

当区は、京丹後市の最北を通過する子午線沿線(東経135度1分53秒、北緯35度41分9秒)の付近に位置します。

当地区は、公共施設に囲まれる形で位置し、東側に京都府立網野高等学校、南側に京丹後市立網野中学校、北側に京丹後市立網野北小学校、なお、西側は隣接する自治区(住吉区、上小路区、水之江区、栄区、東大路区)があります。

区内のほぼ中央に北大路区民会館を構え(兼京丹後市立北大路地区公民館。但し平成26年度から北大路区の自治公民館へ市から移行)、京丹後市立網野中学校の前は国道178号線が区内を横切る形で走り、また、区内にはスーパーマーケットはじめ、喫



茶店、焼肉店、居酒屋など数軒が存在します。加えて、地区内を縦横6本ずつ、国道と市道が走り交通網は発達している地域です。

日本海に面しており、海岸まで徒歩なら10分以内で着けることから、夏場の海水浴場は我が家の庭感覚にあります。

地区内は、海底が盛り上がり形成された丘状を昭和30年代に当時の行政(旧網野町)が区画整理し、その土壌の殆どは砂状であり、その上に住宅などが立ち並ぶ光景を成しています。

なお、地区内に河川は1本もなく、大きな山もなく、かつてはチューリップ栽培の畑が沢山ありましたが、今では少ない畑作の土地程度となり、地域全体は商業住宅街と言えます。

★公的施設等

- ・区民会館 北大路区(区長以下、常時不在で管理人の配置は無い)
- ・上下水道等 上水道は遅くに普及(地下水は掘ればあるが塩分を含む)
公共下水道は整備着手中、今後、地域全体へ整備予定。
- ・公民館等 北大路地区公民館(公民館長・主事以下、常時不在)
- ・消防防災等 北大路区自主防災会(H19.3.1スタート。消防団無し)
- ・公共交通等 丹海バス路線、1停留所のみ
- ・公共庁舎等 学校3校あり(小・中・高)
- ・金融機関等 京都北都信用金庫ATMコーナー1箇所

★人口推移等(当区のピーク時：1,050人前後)

近年、大学へ進学する者は多くいるが、当市ははじめ近郊での就職口が少なく、その結果、Uターン者数も微少のため、加速する人口減から当市の高齢化は進む一方であり、平成26年3月末の高齢化率は32.5%(65歳以上が全体に占める割合)へと、この2年間で2%以上、加速しています。

当地区も同様の傾向にあり、近年、人口の増加はなくなり、昭和から平成に掛けてのバブル全盛期から、一挙に経済崩壊となってからは減少の一途であります。

当地区の人口・世帯は次のとおり。

◎世帯人口動向

(人口等の数値は3月31日現在)

		平成26年	平成25年	平成24年
北大路	人口	887人	894人	909人
	男	424人	433人	439人
	女	453人	461人	470人
	世帯数	347世帯	347世帯	354世帯

(2) 歴史、産業、教育・文化、地区組織

①歴史(区史)

第二次世界大戦後、小高い砂丘地で桑畑しか利用価値がない土地も昭和30年代に入り、網野・浅茂川の大きな商業住宅エリアが手狭となったこともあり、新天地が求められて土地改良整備が図られ、町内の各地域から転居等で急速に住宅が立ち並びま

した。

歴史的な永き物語はありませんが、半世紀余りの間で急成長を成し遂げたことは自他共に認めるところです。

②織物業・農業

戦後の新天地として脚光を浴びて人口も増加し、織物業を営む工場用地の需要や旧市街地内は手狭から建物は拡張困難ほか、分家から多くが移り住み、織物業が盛んな地域となりました。

しかし、昭和49年の第一次オイルショック以降、一時は成長の兆しもありつつ、昭和末期から平成初期のバブル崩壊に伴い、織物業も終焉を迎える時代へ突入し、近年は織物業の機音も余り聞こえず農業は元々盛んでありません。

③教育

★網野北小学校

昭和57年、マンモス校に膨れ上がった旧網野小学校(児童数のピークは1,500余人)は南・北小学校へ2分割されてスタートしました(旧網野小学校はのちに廃校・撤去されて地場産業振興センターや体育センターなどとなる)。夏季は、八丁浜西端の海岸から入水して対岸の小浜海岸を目指す(約1,000メートル)遠泳大会が行われ、冬季は近場の市内弥栄町のスイス村でスキー教室が行われるなど海に山に活発な活動を展開しています。

★網野中学校

昭和30年代初期、旧中学校地(現・網野幼稚園付近)から移築・移転し、現在の網野中学校の位置に建てられる。過去に悲しい出来事である学校火災に3度見舞われるも、幸い人身事故もなく今日に至る。近年では、少子化からピーク時の生徒数から比べると大きく減少しています。

★網野高等学校

古くは昭和23年頃、現・網野第一保育所付近に仮住まいとして建てられた校舎で学校生活スタートするが、翌・昭和24年に砂山地内に木造建ての校舎が完成し、本格的な学校生活が始まりました。幾歳か過ぎて、現在は鉄筋コンクリートの建物へ、また、グラウンド内に新しい体育館が建築されています。

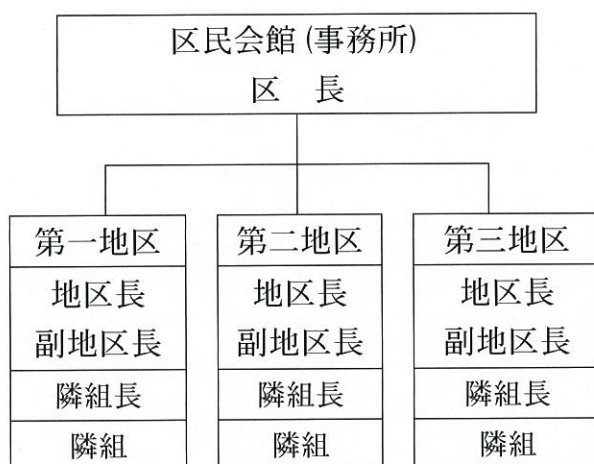
遡ると半世紀以上も前になるが、当時、網野町新浜という砂山の中にポツンと校舎のみ建てられたため、ひとたび強風が吹くと、砂丘地に見られる風紋のように、その風貌は瞬く間に様変わりし、学校へ続く路線や周辺住宅地などもその痕跡は砂で埋まり、判別ができない時もありましたが、今では整備され、府下で一番大きなグラウンドを有する学校となっています。

④文化財(有形無形文化財等)

★神輿

急成長してきた地区において文化的なものでは、昭和57年に北大路愛護会による催し物として子供神楽巡行が発起されました。これは毎年10月中旬に当地区内をほぼ全周する形で行っています。

⑤北大路区等組織図



★北大路区事務所(兼北大路地区公民館)

- ・網野町網野2808番地 電話72-4251 (FAXなし)

★北大路区の自治行政

- ・非常勤区長(事務員、区民会館管理人はなし)
- ・北大路区の自治行政の為の区費査定、事業計画の立案・決定、毎年の予算や決算決定、予算執行や事業実施など
- ・北大路区域内の行政運営
- ・北大路区区民会館の施設管理業務
- ・市行政との協調及び協力(文書配布、防災訓練、健康推進など)

【 北大路区自主防災会 組織図及び役割 】

平成26年5月1日現在

本部班	会 長 1名 副会長 4名 会 計 1名
◎ 平常時の役割…組織活動の運営、防災及び防犯・交通等の計画に関する統括、マニュアルの整備	
◎ 災害時の役割…組織の統括、防災及び防犯・交通等の関係機関との連絡調整	

情 報 班	避難誘導班	消 火 班	救出救護班	給食給水班	防犯交通班
班 長 1名 副班長 2名	班 長 1名 副班長 2名	班 長 1名 副班長 2名	班 長 1名 副班長 2名	班 長 1名 副班長 2名	班 長 1名 副班長 1名

※情報班・避難誘導班は共同行動、救出救護班・給食給水班は共同行動

平 常 時 の 役 割					
・広報活動 ・情報収集伝達訓練 の実施	・器具点検 ・初期消火訓練の実 施	・避難所等点検 ・要介護者の把握 ・避難訓練の実施	・資機材の調達・整備 ・救出救護訓練の実施	・器具点検 ・給食給水訓練の実 施	・防犯、交通対策の啓 発活動の実施

災 害 時 の 役 割					
・被害情報等の収集 伝達 ・消火班と協力し、 出火防止等の広 報活動	・初期消火活動 ・消防署、消防団等 防災関係機関へ の協力	・避難誘導 ・要介護者の避難の手助 け ・市、警察等防災関係機 関への協力	・救出救護活動 ・負傷者の応急手当 ・消防署、消防団、医 療機関等防災関係 機関への協力	・炊き出し等の給食 活動 ・給水活動 ・応急物資等の配布	・防犯、交通対策の強 化徹底

⑥主な地区行事

月	旬	地 域 行 事	備 考
1	中	新年の区初役員会、北大路地区公民館初会合	
2	上～ 中	区役員会、区初総会、初北大路サロン、初防犯パトロール	
3	上～ 下	区役員会、区自主防災会「春の防火予防研修」等へ参加、北大路サロン、北大路愛護会等で古紙回収、防犯パトロール、区自主防災会の消火栓等器具点検、北大路地区公民館の会合	
4	上～ 中	区役員会、北大路サロン、北大路愛護会等で古紙回収、防犯パトロール、北大路地区公民館の会合	

5	上～ 中	区役員会、北大路地区公民館の会合、区民総出で区内一斉の溝掃除、自主防災会主催の各地区消火訓練と消火栓操作研修等、北大路サロン、北大路愛護会等で古紙回収、北大路地区公民館主催の区民グランドゴルフ大会や区民ボーリング大会、防犯パトロール、区自主防災会総会の開催	
6	上～ 中	区役員会、北大路地区公民館の会合、北大路サロン、北大路愛護会等で古紙回収、防犯パトロール	
7	上～ 中	区役員会、北大路地区公民館の会合、北大路サロン、北大路愛護会等で古紙回収、防犯パトロール、北大路地区公民館主催の野外活動事業	
8	上～ 下	区役員会、北大路地区公民館の会合、北大路サロン、北大路愛護会等で古紙回収、北大路愛護会主催の地蔵盆(同・北大路地区公民館の協働の地蔵盆バザー)、市行政の防災訓練と連携し自主防災会主催の避難訓練ほか消火栓操作、区内美化クリーン作戦	
9	上～ 中	区役員会、北大路地区公民館の会合、区主催の敬老会、防犯パトロールの実施	
10	上～ 下	区役員会、北大路地区公民館の会合、北大路サロン、北大路愛護会等で古紙回収、防犯パトロール、区民ふれあい祭(同時開催で北大路地区公民館文化祭)、自主防災会主催による緊急時の炊き出し訓練(おにぎりを来場者へ配る)	
11	上～ 中	区役員会、北大路地区公民館の会合、北大路サロン、北大路愛護会等で古紙回収、防犯パトロール	
12	上～ 下	区役員会、北大路地区公民館の会合、防犯パトロール、区・年末総会の開催、北大路地区公民館主催の親子体験餅搗き大会、北大路サロン、北大路愛護会等で古紙回収	

第2章 地域づくりの構想

1 地域づくり

区民総出による自治会活動はじめ、今後の地域づくりについて、その方向などを考えます。

【安心安全】

◎ 地域・地区内の環境整備等

- ・市道改良…区域北部、北小前の懸案道路対策(強風対策と防風樹林)
- ・除雪対策(歩道の除雪対策(冬季は歩行ができない、駐車、老人世帯の除雪))
- ・網野北小学校周辺の環境整備(雑草や落ち葉、不法投棄の回収等)

◎ 防災・防犯

- ・海岸から内陸部へ数百メートルの地域は海拔4メートル前後と低地にあり、地震による津波への対策は深刻(避難する時の目安)

- ・防犯灯の新設(第一地区の一部他)とその維持管理(蛍光管交換等 ⇒ LED 化)
- ・カーブミラーの新設(区内は縦横に6本ずつ走る道路網)
- ・急傾斜地の防災工事(第1地区内)
- ・消防団への支援(協力体制 ⇒ 区内に消防団がなく地区外の消防団を支援)
- ・自主防災会の運営と推進、区民の区民による区民の為の自主防災会を目指し、区民総出の防災訓練をはじめとして取り組み、地域防災における意識低下からの危機管理意識の向上(脱出)を図る
- ・網野北小学校児童の下校時にあわせて、第3水曜日の午後、見守り隊による声掛け運動の実施

【福祉全般】

◎ 健康づくり

- ・北大路自治公民館行事を含めて、軽スポーツや軽く身体が動かせるように図り、その先に健康づくりに繋がれば良い

※グランドゴルフ、ソフトバレーボール、ジョギング、健康体操等

◎ 高齢者・児童福祉

- ・高齢者世帯が目立ちはじめ、同時に独居老人への対応も必要であり、日々、安心安全に暮らせる必要性が出て来た(民生委員等との連携⇒福祉の情報提供)
- ・高齢者世帯への巡回訪問等が必要(健康推進員や福祉組織等の一体化)
- ・子供もや高齢者等が行き交える憩いの場 ⇒ 「北大路サロン」の発展化等
- ・老人会への加入が少なく、組織(役員交代等)の存続が危ぶまれる
- ・高齢者の買い物や医療機関等へ出掛ける時、足(移動手段)の確保が必要

【文化教育】

◎ 地区組織強化

- ・敬老会参加者が増加する工夫が必要 ⇒ ご近所で誘い合う等
- ・溝掃除後、消火訓練等への区民参加が必要(高齢者対策も含まれる)
- ・区内全体の諸活動を活性化していくため各団体等との連携が必要
北大路サロン実施の回数増とその体制づくり、軽い運動への参加とその工夫、地蔵盆の活性化、区民ふれあい祭と防災訓練「炊き出し等」の必要性
- ・ごみポイ捨て対策…周知と徹底を図る必要(縦横6本の道路清掃等)
- ・プライバシー保護法等から、民生委員、福祉委員、健康推進員等、各委員の受手の確保が困難となっており、将来に向けた対応が必要

◎ 生涯学習

- ・北大路自治公民館事業と共に、区内の諸団体(愛護会、老人会など)と連携した取り組みへの構築が必要(北大路サロンを中心として区民同士が気軽に集まれて談話が弾むような憩いの場づくり等)

◎ 青少年育成

- ・地域内を街ぐるみでイルミネーション点灯で明るく(ワンシーズン(冬))

- ・夏休みに子供達の学習の場として区民会館の解放
- ・地域内を花一杯に着飾り明るい環境整備の構築（各交差点等）

◎ 文化地域・芸能

- ・地域の諸行事を通して区民相互により祭り事からの盛り上げが必要
- ・諸行事への参加に向けて区民意識の改革が必要

2 地域づくりの構想

【安心安全】

安心安全で快適な地域づくりとして、地域内の皆んなが安心して安全かつ快適な生活ができるように望まれるが、年々高まる区民ニーズと高齢化社会への対応や生活空間や地域環境等も全般への呼応は非常な困難な状況にあります。

そのため、区民の一人ひとりが自ら行動し、道路はじめ、側溝や空き地等へのごみの不法投棄など生活空間や環境保全を維持する取り組む等が目標として考えられます。

また、防犯灯やカーブミラー、消火栓等、生活を維持する上で必要な環境基盤は、計画的に行政との協働によって安心安全な地域づくりを図る必要があります。

区域の皆んなが、人生終焉の日まで健康かつ生活ができれば天命と言えますが、少子高齢化が進む中、地域ぐるみで手と手を取り助け合う、相互扶助の精神が是非とも必要になります。

そのため、自治公民館、愛護会、老人会等と共に区民同士或いは世代間で支え合って健康づくりに努め、助け合い精神の通う地域づくりを目指します。

【文化教育】

スムーズな自治行政を図るため、地域と家庭等が一体となり、青少年の健全化を図る必要があります。また、祭事についても将来は工夫が必要ではないかと考えています。先人が築いて来た文化が、後世に引き継げるような世代間の交流事業にも取り組み、文化・教育、自治行政での充実した地域づくりを目指します。

第3章 基本とする計画

1 安心安全

(1) 地域環境整備

【現状ほか】

地区内の道路は、区民のみならず通過する人々において、生活上、非常に必要な社会基盤であり、整備未了の時には人の行き来や経済活動の停滞に繋がる場合には、区民の安全性も脅かされます。区民が安心して安全に生活を営むためにも、道路整備は必要不可欠と言えます。毎年、地区要望で道路改善を市へ要望していますが、区民の要望はそれ以上に増加しています。

また、区内の除雪は車道確保の除雪のみであり、児童等の歩く通学路は除雪不可能なほか、近年は雪の捨て場も確保できない大雪に見舞われることもあり、総合的に進めなけ

ればなりません。

特に、緊急性を伴う場合には一刻も早く区民要望に応えていただくよう、また、区民からの協力を得る等、誰もが安心して安全に通えるよう市へ要望します。

(2) 地域での防災・防犯

【現状と課題】

区内の住宅等は、海岸から最短で300メートル程で海拔4メートル前後と低地のため、地震による津波を考えると一番最初に「避難」が深刻になります。非難する者への、非難先や海拔表示が必要ではないかと考えています。

区民の誰もが、安心して安全に生活ができる環境を望んでいます。

しかし、身近なところで防犯不備や防災施設の有無から、現在ある防犯灯・カーブミラー・消防施設等、破損状況の把握は区民の通報等に頼っています。一部に急傾斜地崩壊対策が必要なため、毎年、市への地区要望で挙げていますが、市の財政も厳しく着手の予定も立っていません。

地域住民の生命財産を守るため、まず、できる限り自分のことは自分で行うことを基本とし、日々の防災訓練等への積極参加により、防災意識を捕らえる必要があります。そのため、当地区は平成18年度に自主防災会を立ち上げ、毎年、微々ではありますが、防災器材の購入に努めて将来への備えに向けて取り組んでいます。

また、区民同士の交流から要介護者など弱者の把握も兼ねて北大路サロンの開設、小学生の下校時には積極的に声掛け運動を行い、安心して安全に住める生活空間となるように努めています。

また、海岸に近く海拔も低いことから、地震の際の津波対策として、いち早く高台への移動が必須と考えています。

【解決に向けて】

地震の津波発生から区民を守るため、一番最初に考えなければならないことは、避難先の目安となります。そのため、避難経路において、区内の随所に海拔表示を掲げて、安心安全のメドとなる避難先まで誘導できるように、目安化へ向けた取り組みが必要であり、市行政の支援を得ながら実現化を図ります。

地区内のカーブミラーや防犯灯の不具合へは、区民の通報等から対処することとし、また、年に1回は地域の区民らと防犯箇所の検討や消火栓器具等の点検・見回りから、火災への備えに向けて積極的に自治区から市へ要望します。

地域内で安心安全に暮らせるように、今後も自主防災会を中心にして、自治会役員をはじめ、関係団体、区民らと共に取り組みます。

更に、区民の防災意識の向上では、自主防災会を中心にして、より活発に活動ができるよう今以上に防災訓練へ向けた取り組みを立案し実行できるように、区民相互に働きかけて積極的な活動になるよう検討していきます。

2 健康

(1) 健康づくり

【現状ほか】

地域内は、網野北小学校、網野中学校、網野高等学校の3つのグラウンドがありますが、年間を通してまだ最大限に活用できていません。

現在、軽スポーツの一貫では北大路自治公民館の立案・実施では、区民グランドゴルフ大会をメインとしています。しかし、平成26年度からは京丹後市教育委員会の手を離れ、自治区公民館へと移行しています。そのため、今後は自治会と自治区公民館との協働により、子供から高齢者という世代間での参加交流ができるように、また、皆んなが参加しやすい軽スポーツを通じて区民個々の体力に応じた健康づくりの橋掛けとなるように目指します。

通学路等で、防犯灯の維持管理(新設含む)では、小・中学生等が夜間も安心して安全に通えるように取り組みます。

(2) 高齢者・児童福祉

【現状ほか】

地区人口は、現在、約890人であります(ピーク時1,050人以上)。

反面、高齢者や単独世帯の急増と少子化が加速し、また、地域内は広範囲が故に区民同士の行き来も少ないため、区民相互の関係が希薄になっています。

将来、安心安全に暮らせるよう、コミュニケーションの場等で安心して子育てができるような場づくりが必要となります。

高齢者世帯や独居老人、子供達が安心安全に暮らせるように、また、誰もが自由に行き来できるような憩いの場づくりとして、北大路サロンの回数を増やす等今まで以上の区民同士が交流できるように目指します。

3 文化・教育と地区組織

(1) 青少年健全育成

【現状ほか】

最近、外で子供等が遊ぶ声が聞こえなくなりました。

これは、少子化傾向も要因であります、一方でパソコンゲーム等、室内で遊ぶ新時代への傾向も見逃せません。

当地区でも自然の中で遊べる場所が少ないことから、自治会と家庭等が一体となって子供達の健全な育成を図るため、人と人とのコミュニケーション能力や人との関わり等、地域ぐるみでの積極的かつ多種多様な取り組みが行えるように検討します。

(2) 生涯学習

【現状ほか】

生涯学習は、地域内の自治会と自治公民館等との連携と周辺地域との関連等からも、子供から高齢者の全区民を対象にして取り組む必要があります。

また、取り組みは区民の誰もが健康に過ごせて、豊かに生涯を送れることが理想であります。そのため、地域内外での、趣味と教養、芸術と文化活動、地域づくり活動、ポ

ランティア活動等、取り組みの立案から検討します。

4 地域要望

(1) 当区に関わる要望（継続含む）

新継別	要望箇所	要望内容	説明
改 築 等	区民会館	施設の老朽化で雨漏り等から建物内外の修繕と、根本的な対策として大改修（屋根増設等）	築30年余を経過の老朽化から至る所で雨漏りがあり、建物の維持管理が困難であり大改修が必要
防災対策	1 地区内の急傾斜地	急傾斜地への崩壊対策	1 地区内の急傾斜地は砂丘地でも年々ずってきており時間的猶予は余りない
生活環境	3 地区の網野北小学校正門前付近の暴風対策（道路内に植樹等）	冬季の北風は周辺住民へはまともに当たるため生活環境が脅かされている	冬季の北風から周辺住宅へはまともに風が当たるため生活環境が悪化している
排水対策	3 地区内で未整備側溝	未整備側溝の早期改良	夏場、蚊の発生や悪臭

自治行政の拠点かつ自主避難所である施設の維持管理等、防災整備の関連等（津波の避難先誘導や原発事故対応を含む）における急務事項は、引き続き、市行政との協働等から取り組んで目標の達成を目指します。

(2) 地区要望事業計画

3つの地区で構成する当地区は、隣組長単位での意見聴取を行う等により、課題の発掘と共にその解決方法への必要な取り組みを自治会役員で検討していきます。

今後、事業等の要望の折、区民のニーズに沿いかつ緊急的な課題等へは、その都度、要望の順序を精査しながら市へ要望していくこととし、また、祭事や諸行事等、地域活性化に向けて現状把握を行なうと共に、実現の可能性を検討の上、課題の解消を進めていきます。

改定年月日：平成26年7月8日

ただし、今後の市行政等情勢変化或いは当区に時間的な余儀がない状況変化が生じた時は、本計画の見直しを行なうものとします。